

「新指定・新登録・新選定」答申物件

《史跡名勝天然記念物の新指定》

【史跡】 8件

1 ^{だてしやながわいせきぐん}伊達氏梁川遺跡群 ^{だてし}【福島県伊達市】

^{こくじんりょうしゆ}奥州南部において国人領主から戦国大名へと発展を遂げた伊達氏の本拠地であり、
^{やかたあと}伊達氏館跡とそれを中心に展開する城下が良好な状態で保存されている。当時の領主居館と城下の在り方及びその変遷をたどることができる希有な遺跡。

(室町時代の領主居館と城下の在り方及びその変遷をたどることができる希有な遺跡)

2 ^{いわびつじょうあと}岩櫃城跡 ^{あがつまぐんひがしあがつままち}【群馬県吾妻郡東吾妻町】

武田氏、後北条氏、上杉氏という有力な戦国大名の攻防の舞台となった境目の城。城下町を取り込む規模が大きく複雑な縄張り、武田氏、真田氏の領国支配の在り方や東国の戦国時代史を考える上でも、極めて重要。

(武田氏、真田氏により経営された東国の戦国時代史を考える上でも極めて重要な城)

3 ^{しもうささくらあがらだまきあと}下総佐倉油田牧跡 ^{かとりし}【千葉県香取市】

乗用馬等の養成のために江戸幕府が直轄で経営した佐倉七牧の一つである。佐倉七牧の中では最小の規模であるが、遺構が良好に保全され、牧の全容を把握することができ、
^{うまき}近世における馬牧の様相を知る上で貴重。

(江戸幕府が直轄で経営した佐倉七牧の一つで、近世における馬牧の様相を知る上で貴重な遺跡)

4 ^{すみふるさわいせき}墨古沢遺跡 ^{いんばぐんしすいまち}【千葉県印旛郡酒々井町】

日本列島の後期旧石器時代前半期を特徴づける約3万4千年前の環状ブロック群で、日本最大級の規模。動物資源を目的に集まった人々が営み、狩猟具を含む活発な石器製作を行った集落遺跡で、石材分析から広域に及ぶ人々の移動や交流が明らかとなっている。当時の生業活動や集団関係を知る上で極めて重要。

(日本列島の後期旧石器時代を代表する環状ブロック群)

5 もとのき たざわいせきぐん 本ノ木・田沢遺跡群

もとのき いせき
本ノ木遺跡

たざわいせき
田沢遺跡

じんいせき
壬遺跡

なかうおぬまぐんつなんまち とおかまちし
【新潟県中魚沼郡津南町・十日町市】

縄文時代草創期の生活文化を示す遺跡群である。縄文時代の始まりを巡る論争の舞台となった本ノ木遺跡をはじめ、晩氷期の気候変動において新たに形成されつつある環境に、人類がどのように適応したのかをよく表す遺跡からなる。旧石器時代から縄文時代への変遷を知る上で重要。

(縄文時代草創期の生活文化を示す遺跡群)

6 すいけんでいぼう わかやまし 水軒堤防【和歌山県和歌山市】

江戸時代後半頃、紀の川河口部南方に築かれた延長約1.5kmの防潮・防波堤防。石堤と土堤の二重構造からなる中堤防（高さ5.0m、幅27m以上）、その南側の土堤（南堤防）及び北側にある自然堤防（北堤防）からなる。近世の土木技術及び防災を知る上で貴重。

(江戸時代後期、紀の川河口部の南方に築かれた防潮・防波堤防)

7 わかすぎやましんしゃさいくつ いせき あなんし 若杉山辰砂採掘遺跡【徳島県阿南市】

弥生時代後期から古墳時代前期にかけて朱の原料である辰砂しんしゃの採掘を行った遺跡。岩盤を打ち割り辰砂を採掘した採掘場と、採掘に伴い廃棄されたズリ場からなる。我が国古代において顔料として重用された朱の原料の採掘の在り方を示す遺跡として重要。

(弥生時代後期から古墳時代前期にかけて朱の原料である辰砂の採掘を行った遺跡)

8 しゅうでやまいせき みとよし 紫雲出山遺跡【香川県三豊市】

弥生時代中期の高地性集落の性格や同時代の社会の評価に多大な影響を与えた学史上著名な遺跡。その立地や出土遺物は、弥生時代中期の高地性集落の性格や瀬戸内海を介した広域交流の在り方を考える上で極めて重要。

(瀬戸内海を望む弥生時代中期の高地性集落)

【名勝】 2件

1 ^{にしやまし ていえん} ^{せいりゆうてい} ^{とよなかし}
西山氏庭園（青龍庭）【大阪府豊中市】

鉄道沿線に開発された住宅地に昭和15年（1940）に造営された枯山水の住宅庭園。主庭の設計は作庭家の重森三玲で、^{しげもり みれい} 枯滝石組、^{かたきいしぐみ} 枯流れがそれぞれ龍の頭、胴体を表す。近代になって鉄道沿線に開発された住宅地に残る庭園の事例として重要。

（鉄道沿線に開発された住宅地に昭和15年（1940）に造営された、枯山水の住宅庭園）

2 ^{まんのうけ} ^{なかたどぐん} ^{ちよう}
満濃池【香川県仲多度郡まんのう町】

香川県西部を流れる^{かなくらがわ}金倉川の上流域に所在し、古代以来の巨大な堰堤の構築によって形成された広大なため池で、流域の地勢や遥かに遠望する山並みとともに優れた風致景観を呈する。近世から近代を通じて広く親しまれてきた名所。

（古代以来の巨大な堰堤の構築によって形成された広大なため池の優れた風致景観）

【天然記念物及び名勝の新指定】 1件

1 ^{あおのやま} ^{かのあしくんつわのちよう}
青野山【島根県鹿足郡津和野町】

青野山火山群を代表する溶岩ドームで、日本列島におけるプレートの沈み込みとマグマ活動のプロセスを理解するために重要な岩石で構成されている。中世からは信仰の対象として、近世以降は絵図に描かれるなど景勝地でもある。

（青野山火山群のうち最大の溶岩ドームで、信仰の対象であり景勝地）

《登録記念物の新登録》

【名勝地関係】 3件

1 きゅうはやし していえん 旧林氏庭園 いちのみやし 【愛知県一宮市】

江戸時代に美濃路の起おこしゆく宿わきほんじんの脇本陣であった林氏の邸宅ちに、昭和初期に造営された池泉庭園せんていえん。大正2年（1913）に再建された主屋の奥に広がり、中心部分に園池を設ける。園内全体に飛石が打たれ、秋にはイロハモミジやドウダンツツジの紅葉が彩りを添える。

（江戸時代に美濃路の起宿の脇本陣であった林氏の邸宅に、昭和初期に造営された池泉庭園）

2 やつつか していえん 八束氏庭園 まつやまし 【愛媛県松山市】

松山市中心部から約2km東にある持田地区もちだに位置する住宅庭園。昭和11年（1936）に、茶室のある数寄屋風の主屋、待合等とともに造営された。表門から玄関に至る道に瓦を立てて埋め込んでおり、その意匠が特徴的である。

（昭和11年（1936）に、茶室のある数寄屋風の主屋とともに造営された住宅庭園）

3 ひらた していえん 平田氏庭園 なかつし 【大分県中津市】

耶馬溪やばけいの名勝指定や地域振興に尽力した平田吉胤ひらたよしたねの住宅に営まれた庭園で、耶馬溪の風致景観を巧みに取り込んで特徴ある眺望を演出するよう工夫された意義深い事例であり、時代を特徴づける造形をよく遺している。

（耶馬溪の風致景観を巧みに取り込んで特徴ある眺望を演出するよう工夫された庭園）

《重要文化的景観の新選定》

【重要文化的景観】 1件

1 ^{なきじんそんいまだまり}今帰仁村今泊^{やしきりん しゅうらくけいかん}のフクギ屋敷林と集落景観【^{くにがみぐんなきじんそん}沖縄県国頭郡今帰仁村】

^{もとぶ}沖縄島の本部半島に所在する。近世に、生活や農業の利便性を求め、^{なきじんぐすく}段丘上の今帰仁城跡周辺から、低地に囲まれ、イノーに面した微高地に移動したことを全体で示す集落景観である。特に、防風のためのフクギ屋敷林が^{はまほうご}浜抱護、^{むらほうご}村抱護と成す緑豊かな景観を特徴とする。

(沖縄島北部、段丘上のグスク周辺から海際に移動した集落とそのフクギ屋敷林の景観)